

アラスカ通信1 - IPCCの正当性について - 福田(アラスカ大学)

皆様いかがお過ごしでしょうか。お正月からしばらくここフェアバンクスは穏やかな天候でしたが、昨日から例年なみの寒さになりました。本日 1月14日の正午の気温は-38℃です。まだまだ寒くなるとの予報が出ています。

さて 先日のバリ島での COP13 でも取り上げられたのですが 世界で発生している森林火災から放出されている二酸化炭素は年間 60 億トン-150億トンと見積もられています。排出総量が260億トンですからいかにその比率が大きいかがわかります。IPCC の第4次レポートでも温暖化抑制の切り札は森林火災の抑制であると指摘しています。しかし私はこの IPCC の記述には懐疑的です。1995年の IPCC 第2次報告では 北方森林は 世界最大の二酸化炭素の吸収源で年間 7 億トン吸収していることとなります。

低緯度地帯の熱帯林	16.6±4 億トンの放出
中高緯度地帯の森林	7.4±1 億トンの吸収
世界の森林	9.0±4 億トンの放出
世界の化石燃料燃焼による放出	55 億トンの放出
日本の化石燃料燃焼による放出	3.3 億トン
日本の森林による炭素吸収	0.9 億トン

IPCC 1995 第二次報告書

この報告を読んで「火災の効果が欠けている。おかしい」と思い、シベリアでの実証実験を5年間行いました。本当は実際に人工火災実験を行いたかったのですが スポンサーの日本科学振興事業団に「日本政府の資金で他国の森林に火を放つなど許されない」といわれ断念しました。その代わりにある面積の木をすべて伐採し、その場所から取り除きました。大型の観測タワーを設置し、森林の二酸化炭素機能がどのように変化するかをシベリアタイガのど真ん中で5年間観測しました。定量的に森林の攪乱で二酸化炭素は吸収から放出に転ずることを確認しました。

その後 IPCC の森林機能部分の執筆担当者を北大に呼びその成果を公表する国際会議を開きました。かの悪名高き? International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA)からも招聘しました。そして今回の報告では火災による二酸化炭素放出量の見積もりが過大に評価されているのに驚きました。IPCCは一見すると純科

学的な集団に見えますが、他方ある政治的な思惑に左右されているのも事実です。なぜ今回の報告では森林火災の影響を過大に評価したのか。その背景にはアメリカの働きかけがあるのです。もともと1997年12月の京都会議では当時のゴア副大統領が乗り込んできて、その国の森林面積に比例した吸収量を加味した方式(ネット方式)を提案し、これを認めればアメリカは批准する用意があると公言しました。その根拠が表のようなIPCCレポートでした。しかしその後ブッシュ・ゴアのあの曖昧な大統領選挙結果のため、ゴアが敗れブッシュが大統領になって批准を拒否したわけです。

そのブッシュが昨年2月のドイツでのG8サミットでポスト京都議定書へ前向きな意見を出したのは、他国で森林火災の抑制を行い、その評価でアメリカは自国ではなにもせず、二酸化排出権を獲得するという方針だったのです。しかもインドネシアやブラジルに働きかけて今回のCOP13では火災の抑制でもCDMとして認めよという主張をさせました。こうした国々はForest8(F8)と称して森林火災の抑制で排出権を獲得するという作戦です。インドネシアやブラジルもしたたか度こうした森林保全をCDM化して、炭素取引で稼ごうと企んでいます。まんまと引っかかるのは日本になるのは目に見えています。一方で森林を破壊しバイオエタノールやバイオジェール燃料(やし油)の増産で稼いでいるのもこうした国々です。「矛盾」という言葉がぴったりのやり口です。

昨今の温暖化対策や排出権取引についての報道を見ると、少し本質からズレているような気がしてなりません。ましてある省庁はG8サミットに併せてとってつけたような賢人会議なるものを開こうとしています。そこに提言する報告書がある研究グループが用意していますが、IPCCですら断言していない温暖化の元凶は人為による二酸化炭素放出と決め込んでしまします。IPCCレポートには世界中の真面目な研究者がデータや情報を真面目に提供しています。しかし、上層部の一握りのグループが自国や大国の思惑や意向に左右されていることは事実です。研究者として時の施政者におもねるような報告書を書くのは研究費獲得のためなののでしょうか。研究者のモラルにかかわる問題だと思えます。はっきり言ってIPCCの一部の上層部についてはどうも信用できかねるのです。IPCCが言っているから絶対的に正しいという金科玉条のごときに奉る日本の研究者やマスコミは滑稽にすら見えます。

最後に以下のURLにアクセスしてみてください。

<http://www.team-6.jp/futsugou/index.html>

電車の週刊誌中吊り広告のようなおどろおどろしい見出しで温暖化の恐怖をかき立てています。これは我が環境省が制作しHPで公開しているのです。